

2020 年度事業 進捗報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年9月30日
- 事業名 : 被災当事者が復興後の地域活動の担い手となっていくための活動支援事業
～南三陸町震災復興祈念公園の管理運営への住民参画を端緒として～
- 資金分配団体 : 一般社団法人 RCF
- 実行団体 : 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

1 実績値

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
これまで「復興みなさん会」が担ってきたような復興公営住宅入居者向けの活動により多くの担い手が参加している。	新しい地域活動の担い手数	20 名	2022 年 9 月	コロナ禍を経て再開した住民活動の中で、活動の企画に関わるコア層の住民数 14 名 神社を拠点とした住民活動 5 名 復興住宅を拠点とした住民活動 9 名	3
復興公営住宅入居者に関わる活動母体（団体・サークル）が生まれている。	団体・サークル数	4 団体	2022 年 12 月	活動を停止していた復興公営住宅内の住民団体のリーダー層に本支援事業内で働きかけを行い、活動を再開したことを確認した 3 団体 ほほえみの会 （沼田東行政区 = 志津川東の東復興住宅） 西が丘ほっこり倶楽部（志津川西復興住宅） 伊里前はなぞの会（伊里前復興住宅）	2
公園を活用したり管理に協力したりする住民活動が生まれてくる。	参加団体数	10 団体	2022 年 12 月	6 団体 南三陸町社会福祉協議会／南三陸椿くらぶ アマタ（株）／サスティナビリティセンター 南三陸ネイチャーセンター友の会 復興みなさん会 <今後連携が想定される団体> 東北 GYROs、南三陸町観光協会 草刈り活動の参加者のグループ化 等	2

公園を協働の枠組みで管理運営していくための協議の場ができる。	協議会の発足	協議会が発足している	2022年7月	町役場（公園設置者）を含めて「さんサンポートプロジェクト」を協議の場としていくことは決定。 今後、持続可能な事務局体制や協議体の運営ルール（規約など）の検討を進める。	2
--------------------------------	--------	------------	---------	--	---

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値
5.新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
新型コロナウイルス感染症の影響が一旦ピークを越えた中、一部の復興公営住宅では集会施設を活用した交流の場を再開することができている。このような活動事例を、情報発信を通じて横展開していくことで、コロナ禍の影響が一定程度残っている中でも、地域活動を再開・維持していくことができることを伝え、活動を促していきたい。

③ 広報（※任意）

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

河北新報 2022/6/25 朝刊 復興祈念ン公園で花植え 鎮魂の場に癒やしを

2.広報制作物等

南三陸汐風便り 7号（A4 4ページ=A3 2つ折り、1,100部）（2022/7/31 発行）

3.報告書等